

令和4年度事業報告書

公益財団法人 日本美術院

I 事業の状況

1. 美術に関する調査研究、管理保存及び活用して広く一般公衆の用に供する事業

(1) 美術の研究及び調査事業

令和4年度は、同人による日本画の研究発表として第77回春の院展に35名及び再興第107回院展に32名の作品を展示した。

(2) 研究所並びに資料等の管理保存及び活用、並びに公開と美術に関する図書の刊行事業

① 令和4年度は、再興第107回院展、第78回春の院展の表紙絵の寄附を受け入れた。

② 蔵書目録については、令和4年度の追加図書の基本データの入力を終了した。

③ 画像データの作成 再興第107回院展297点、第77回春の院展340点

④ 画像データの貸出 140件(314点)

⑤ 所蔵資料の公開及び貸出

◇ 令和4年9月22日～12月12日 茨城県近代美術館天心記念五浦美術館

企画展「再興院展の立役者 齋藤隆三」

岡倉天心「支那旅行日誌」明治26年、前田青邨「下村観山居士像」昭和5年 計2点

◇ 令和4年9月28日～12月14日 名都美術館

特別展「横山大観一心によりて筆生ずー」

横山大観「ある日の太平洋」習作 落款あり 計1点

⑥ 図書の寄贈

第77回春の院展及び再興第107回院展全作品集を全国の日本画に関係する国公立美術館・大学図書館(103か所)に寄贈した。

(3) 美術に関する研究会、講演会等の開催事業

① 研究会参加者の作品に対する同人の批評・指導を行ったが、そのうち本院を会場として開催したものは、次のとおりである。

令和4年： 5月19日(木)23名、6月 3日(金)7名、6月 4日(土)35名、6月 5日(日)25名
6月19日(日)14名、6月25日(日)40名、6月28日(火)6名、6月28日(火)20名
7月17日(日)27名、8月 2日(火)9名、8月 4日(木)14名、8月 8日(月)6名
9月25日(日)21名、11月30日(水)10名、12月20日(火)10名

令和5年： 1月10日(火)20名、1月15日(日)37名、1月17日(日)12名、2月15日(水)19名
2月19日(日)32名、2月22日(水)24名、2月25日(土)11名、2月26日(日)13名

今年度合計(23回：435名) 前年度(17回：288名)

② 巡回展における講演会及び講習会等

○名古屋特別講演： 令和4年11月26日(土) つなぐ、にっぽん美術 聴講者181名

○名古屋体験講座： 令和4年12月 3日(土) さわってみよう日本画材 体験者17名

○名古屋鑑賞体験講座： 令和4年12月 4日(日) つなぐ、にっぽん美術 作品鑑賞ツアー 30名

○熊本講習会： 令和5年1月31日(火) 50名(受講者20名、聴講者30名)

今年度合計(4回：278名) 前年度(1回：50名)

③ 地域連携教育プログラム

【計14件】

◇ 令和4年 7月 7日(木) 台東区学びのキャンパスプランニング 千束小学校(参加者30名)「絵画指導」

◇ 令和4年 9月14日(水) 「岩絵の具と膠で日本画を描こう」弥富市、弥富北中学校(参加者259名)「絵画指導」

◇ 令和4年 9月15日(木) 「岩絵の具と膠で日本画を描こう」弥富市、弥富北中学校(参加者259名)「絵画指導」

◇ 令和4年10月 6日(木) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、二万小学校(参加者18名)「絵画指導」

◇ 令和4年10月 7日(金) 「岩絵の具と膠で日本画を描こう」名古屋市、伊吹山中学校(参加者28名)「絵画指導」

◇ 令和4年10月11日(火) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、第五福田小学校(参加者30名)「絵画指導」

- ◇令和4年10月18日(火) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、連島小学校特別支援学級(参加者35名)「絵画指導」
- ◇令和4年10月19日(水) 台東区教員向けワークショップ (参加者13名)「絵画指導」
- ◇令和4年10月31日(月) 台東区学びのキャンパスプランニング 大正小学校(参加者65名)「絵画指導」
- ◇令和4年11月25日(金) 台東区学びのキャンパスプランニング 蔵前小学校(参加者106名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月 9日(金) ワークショップ 横浜市、聖ヨゼフ学園(参加者63名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月14日(水) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、倉敷小学校(参加者52名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月15日(木) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、倉敷小学校(参加者53名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月21日(水) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、倉敷小学校(参加者16名)「絵画指導」

2. 全国に展示する日本画の公募展覧会の開催及び日本美術院に關係する作品を国内外へ紹介し、美術の交流を図る事業

(1) 第77回春の院展

令和4年3月23日(水)から4月4日(月)まで日本橋三越において開催し、引続き巡回展を名古屋、京都、秋田、札幌、福井、大阪、山形、倉敷、島根、福岡、新潟、広島、栃木、選抜(東京)の15会場で延157日間開催した。

総入場者数は74,331名(前回比7,966名増)であった。

詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した作品は、次のとおりである。

応募作品点数	643点 (前回 701点)
応募人員	642名 (" 693名)
入選作品数	305点 (" 309点)
内 無鑑査	16点 (" 15点)
初入選	31点 (" 33点)
同人出品点数	35点 (" 33点)
出品総数	340点 (" 342点)

巡回展には、同人作品35点、受賞作品17点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおり。

◇春季展賞(郁夫賞)

『冬の心臓』 守 みどり 以上1名

◇春季展賞

『虎落笛』 須田健文 以上1名

◇外務大臣賞

『マリーナの午後』 荒木恵信 以上1名

◇奨励賞

『マリーナの午後』	荒木恵信	『晩秋』	大河原秀樹
『節季』	山梨千果子	『映』	柏谷明美
『月読』	阪野智啓	『帳』	森友紀恵
『井之頭(6)一阿弥陀来迎図』	樋田礼子	『かせきの博物館』	竹内榮次
『葉漣』	松村公太	『風咲く夜』	永吉秀司
『Reflection』	山浦めぐみ	『昇』	岩波昭彦
『薄日』	小針あすか	『小春日和』	吉田圭一郎
『シニフィアンとシニフィエ』	澁澤星		以上15名

授賞式は、3月23日(水)午後3時から日本橋三越本店7階特別食堂「不二の間」において、外務省在外公館課長南慎二氏他外務省関係者の臨席を得、田淵理事長より春季展賞及び奨励賞を、外務省在外公館課長南慎二氏より外務大臣賞を授与した。

記念レセプションは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

第77回春の院展の実績は次のとおりであり、無事終了した。

区分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
東京展	令和4年 3月23日(水)～4月 4日(月)	13日	340点	14,397名	1,107名	三越日本橋本店
名古屋展	" 4月 9日(土)～4月17日(日)	9日	126点	11,359名	1,262名	名古屋松坂屋美術館
京都展	" 4月20日(水)～4月25日(土)	9日	120点	5,795名	965名	高島屋京都店
秋田展	" 4月29日(水・祝)～5月 8日(日)	10日	132点	3,847名	384名	秋田県総合生活文化会館
札幌展	" 5月11日(水)～5月18日(月)	6日	135点	2,022名	337名	札幌三越
福井展	" 5月22日(日)～5月30日(月)	9日	97点	5,144名	571名	西武福井店
大阪展	" 6月 8日(日)～6月13日(月)	6日	120点	2,028名	338名	心齋橋PARCO
山形展	" 6月17日(金)～6月26日(日)	10日	97点	1,759名	175名	天童市美術館
倉敷展	" 7月 2日(土)～7月10日(日)	9日	104点	2,266名	251名	倉敷市立美術館

島根展	" 7月16日(土)～7月31日(日)	16日	145点	9,920名	820名	足立美術館
福岡展	" 8月 3日(土)～8月 8日(月)	6日	100点	886名	147名	福岡三越
新潟展	" 9月21日(水)～9月26日(月)	6日	130点	3,995名	665名	新潟伊勢丹
広島展	" 9月30日(金)～10月10日(月・祝)	11日	180点	4,810名	437名	そごう広島店
栃木展	" 10月15日(土)～11月20日(月)	30日	90点	4,031名	134名	さくら市ミュージアム
選抜展	令和5年 1月20日(金)～1月29日(日)	10日	110点	2,072名	207名	西武池袋本店
計		160日	延2,026点	74,331名	465名	15会場
前回計	令和3年3月24日(水)～令和4年1月30日(日)	158日	延2,091点	66,365名	420名	15会場

(2)再興第106回日本美術院展覧会(院展)

令和3年9月1日(水)から開催した再興第106回院展は、令和4年2月1日(火)開催の広島展までの詳細について、令和3年度事業報告書に報告済みであるが、残り3会場であった横浜展、北九州展、島根(西)展については本年度となるためここに記載する。

区分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
横 浜 展	令和4年3月 4日(金)～4月10日(日)	38日	84点	9,243名	243名	そごう美術館
北九州展	" 4月20日(水)～5月15日(日)	23日	67点	4,700名	204名	北九州市立美術館
島根(西)展	" 5月21日(土)～6月12日(日)	23日	66点	3,422名	148名	今井美術館

(3)再興第107回日本美術院展覧会(院展)

令和4年9月1日(木)から9月17日(金)まで17日間、東京都美術館において開催し、引続き巡回展を大阪、島根(東)、名古屋、京都、岡山、広島、富山の順に8会場で延103日間、入場者総数91,565名を数えた。なお、横浜、島根(西)、茨城五浦展を残している。詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した点数は、次のとおりである。

応募作品点数	431点 (前回 427点)
応募人員	430名 (" 425名)
入選作品数	265点 (" 265点)
内 無鑑査	18点 (" 16点)
初入選	28点 (" 23点)
同人出品点数	32点 (" 32点)
出品総数	297点 (" 297点)

巡回展には、同人作品32点、受賞作品15点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおりである。

◇内閣総理大臣賞	『霧の柳生道』	同人	大野逸男
◇文部科学大臣賞	『街の標』	同人	前田力
◇東京都知事賞	『音楽室は根の国』	川崎麻央	
◇日本美術院賞(大観賞)			
	『音楽室は根の国』	川崎麻央	
	『玄鳥至』	守みどり	以上2名

◇奨励賞

『羊飼い』	三浦愛子	『高嶺の薫風』	加藤厚
『星鏡』	村上里沙	『鳥越の古道』	谷善徳
『市場』	松岡歩	『井之頭(7)一阿弥陀聖衆来迎』	樋田礼子
『reflection city』	吉田侑加	『線とトンネル』	岩谷晃太
『夜語り』	鈴木恵麻	『Prima vera』	山崎佳代
『日出ずる国へ』	仲裕行	『お祈りに来た蝶々』	下田博子
『華燭の花』	鈴木ちか子		以上13名

授賞式は、9月1日(木)午後3時から上野精養軒において、来賓として文化庁都倉俊一長官をはじめ、奨励賞賞金用にご寄附いただいている(株)三越伊勢丹細谷敏幸社長、(株)高島屋社長村田善郎、(株)大丸松坂屋澤田太郎社長、そごう・西武取締役執行役員久保田俊樹様他9名を迎え開催した。

授賞は、内閣総理大臣賞及び文部科学大臣賞を都倉俊一文化庁長官より、日本美術院賞及び奨励賞を田淵理事長より授与した。

次いで、奨学金及び推挙状の授与を田淵理事長より以下のとおり授与した。

記念レセプションは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

◇第41回日本美術院奨学金の授与(各50万円) 加藤厚、須田健文

◇推挙状の授与(令和4年9月1日)

①特待推挙

荒木 恵信(石川) 鬼塚 堅太(茨城) 芝 康弘(愛知)
徳永 昇(長野) 廣瀬 貴洋(神奈川)

以上5名

②院友推挙

芦田 竜太郎(広島) 安栄 容子(北海道) 顧 洛水(大阪)
小松原彩瑞(神奈川) 島田 滋(千葉) 鈴木 一枝(茨城)
鈴木 さよ子(神奈川) 中井 一郎(愛知) 永田 恭子(愛知)
伴 鈴子(京都) 宮澤 孝恵(広島) 森 通(岐阜)
楊 諭淇(京都)

以上13名

③研究会員推挙

<令和3年10月22日付>

井上 雄介(愛知) 新藤 美希(石川) 中本 雅(兵庫)
山中 翔(大阪) 柳澤 宏敏(神奈川) 石野 駿平(石川)
王 夢(京都) 豊野 芳子(群馬)

以上8名

<令和4年2月18日付>

長岡 明子(広島) 田邊 沢子(東京)

以上2名

<令和4年6月15日付>

荒井 順子(千葉) 山本 政彰(宮城) 長田 不岐郎(長崎)
末岡 瑞貴(京都) 高田 久恵(大阪) 高田 咲恵(大阪)
田中 美智子(愛知) 加藤 明美(愛知) 岡野 規子(東京)
安部 温(群馬) 遠藤 沙織(栃木) 長谷川美恵(神奈川)
平片 仁也(東京) 大野 裕美(埼玉) 村松 航汰(広島)
鈴木 淑子(埼玉) 木村 光輝(山形) 築井 渚(千葉)

以上18名

再興第107回院展各会場の実績は、次のとおりである。ただし、富山展までの8会場であり、残り3会場の横浜展、島根(西)展、茨城五浦展は令和5年度になる。

区分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
東京展	令和4年 9月 1日(木)～ 9月17日(土)	16日	297点	16,006名	1,000名	東京都美術館
大阪展	" 9月28日(水)～10月 3日(月)	6日	64点	2,389名	398名	阪急うめだ本店
島根(東)展	" 10月 8日(土)～10月30日(日)	23日	90点	31,085名	1,351名	足立美術館
名古屋展	" 11月26日(土)～12月 4日(日)	9日	112点	12,136名	1,348名	名古屋松坂屋美術館
京都展	" 12月13日(火)～12月18日(日)	6日	87点	1,964名	327名	京都市京セラ美術館
岡山展	令和5年 1月 2日(月・祝)～ 1月15日(日)	14日	58点	10,888名	777名	岡山市・天満屋
広島展	" 1月19日(木)～ 1月31日(火)	13日	86点	14,102名	1,084名	広島市・福屋
富山展	" 2月 4日(土)～ 2月19日(日)	16日	66点	2,995名	187名	富山県民会館美術館
計		103日	延860点	91,565名	888名	8会場
前回計	令和3年 9月 1日(水)～令和4年 2月1日(火)	121日	延825点	104,446名	525名	7会場

(4)日本画を手元において観て楽しむ文化の普及を図るため、図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの販売。

令和4年度における図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの売り上げ部数は、次のとおりである。

第77回春の院展図録 : 2,609部

再興第107回院展図録 : 2,045部

絵葉書 : 34,841枚 一筆箋 : 458部 クリアファイル : 1,778部

3. 日本画の分野における若手芸術家の育成活動に対する助成事業

第41回日本美術院奨学金は、選考委員会において加藤厚氏及び須田健文氏を選考し理事会で決定した。

なお、授賞式は令和4年9月1日(木)午後3時より上野精養軒において行われ、田淵理事長から授与した。

Ⅱ 処務の概要

1. 役員等に関する事項

令和5年3月31日現在

	氏名	就任年月日	手当	現職等	担当職務
代表理事	田 淵 俊 夫	H28.6.10	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	業務の総理 法人代表
〃	那波多目功一	H28.8.21	無	日本芸術院会員 日本美術院同人	業務の総理 法人代表
業務執行理事	手 塚 雄 二	H28.8.21	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	日常一般業務
理事	下 田 義 寛	H26.6.6	無	倉敷芸術科学大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	梅 原 幸 雄	R3.6.18	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	西 田 俊 英	H28.12.7	無	武蔵野美術大学教授 日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	松 村 公 嗣	H24.5.25	無	愛知県立芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
監 事	西 崎 誠 司	R4.6.15	無	東京芸術大学教授 日本美術院同人	
〃	天 野 清 一	R4.6.15	有	税理士	
評議員	真 室 佳 武	H23.4.1	有	鎌倉市鏑木清方記念美術館長	
〃	佐 藤 道 信	H23.4.1	有	東京芸術大学教授	
〃	古 田 亮	R4.6.15	有	東京芸術大学教授	
〃	伊 藤 欣 哉	H24.12.4	無	日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	福王寺 一 彦	H29.4.12	無	日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	大 矢 紀	H29.4.12	無	日本美術院同人	
〃	倉 島 重 友	R3.6.18	無	広島市立大学名誉教授、 日本美術院同人	

※氏名は本名を記す。

2. 職員に関する事項

令和5年3月31日現在

職名	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	山 中 和 則	令和 4年 7月 1日	事務の総括	令和4年10月1日事務局長
資料室長	和 田 真理子	平成12年 1月 1日	資料の管理、庶務事務	
事業課長	吉 村 泉 里	平成29年 5月16日	院展の業務、経理事務	令和3年7月1日事業課長
総務部員	鈴 木 亮 太	令和 4年 4月 1日	経理事務	

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

①令和4年5月20日 ○令和4年度 第1回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
- 令和3年度事業報告書及び決算書について
 - 第41回日本美術院奨学金受給者の決定について
 - 理事候補者の推薦及び評議員補欠候補者の推薦について
 - 評議員選定委員(外部委員)の選任について
 - 運営会議の検討事項について

6. 所蔵品の貸し出しについて
7. 賞候補審査方法について
8. 事務局長の人事について
9. その他

報告事項：1. 第77回春の院展東京展の終了報告について
2. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

②令和4年6月15日 ○令和4年度 第2回理事会

開催場所：1. 理事長、代表理事及び業務執行理事の選出について
2. 運営会議委員(理事)の選出について
3. 天心例祭について
4. 再興院展110回記念展(仮称)について
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

③令和4年8月16日 ○令和4年度 第3回理事会

開催場所：東京都美術館地下3階審査室
議事事項：1. 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞の選考について
2. 東京都知事賞、日本美術院賞、奨励賞の選考について
3. 入選・受賞等による招待、特待、院友の推挙について
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

⑤令和4年10月21日 ○令和4年度 第4回理事会

開催場所：日本美術院
議事事項：1. 新同人の推挙について
2. 第78回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望について
3. 北九州市立美術館における再興院展開催(案)について
4. 再興第108回及び第109回以降の院展(広島展)における会期について
5. 第78回春の院展巡回展(松山展)開催の申し入れについて(案)
6. 基本財産の組み換えについて
7. 再興院展第110回記念展に向けた検討委員について
8. 再興院展日本美術院賞(大観賞)の決定について
報告事項：1. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

⑥令和5年2月17日 ○令和4年度 第5回理事会

開催場所：日本美術院
議事事項：1. 令和5年度事業計画及び同予算書について
2. 公益財団法人日本美術院諸規則の改正について
3. 図書等物販費の改定について
4. 令和5年度同人新作品展の開催計画について
5. 運営会議の検討事項について
6. 再興院展・大阪展(阪急うめだ本店)の開催中止について
7. 定時評議員会(令和4年度)の開催について
報告事項：1. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について
2. 再興第110回院展記念展(仮称)開催に向けて
3. 水野美術館、高崎市タワー美術館への作品貸し出しについて
4. 著作権譲渡契約(菊川多賀、菊川三織子作品の全著作権)の完了について
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

(2)評議員会

①令和4年6月15日 ○令和4年度 第1回評議員会

開催場所：日本美術院
議事事項：1. 議事録署名人の選出について
2. 令和3年度事業報告書及び決算書について
3. 理事及び監事の選任について
4. 定款の一部改正及び役員等報酬規程の制定について
出席等：決議に必要な出席評議員の数4名、出席7名、監事出席2名、理事出席1名

(3) 同人会

① 令和4年6月15日 ○令和4年度 第1回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 研究会員の詮衡について
2. 令和4年度第2回同人新作品展について
3. 再興第107回院展について

報告事項：1. 令和3年度事業報告書及び決算書について
2. 第41回日本美術院奨学金受給者について
3. 理事、監事及び評議員の選任について
4. 第77回春の院展東京展の終了報告について
5. 運営会議の検討事項について
6. 同人、諸員にかかる展覧会図録等の資料寄贈について
7. 巡回展における同人の同行に関する意向調査について
8. その他

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席35名、欠席2名

② 令和4年8月16日 ○令和4年度 第2回同人会

開催場所：東京都美術館

議事事項：1. 再興第107回院展について
2. 8月17日以降の日程について

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席27名、欠席10名

③ 令和4年10月21日 ○令和4年度 第3回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 新同人の推挙について
2. 研究会員の詮衡について
3. 第78回春の院展について
4. 再興院展第110回記念展に向けた検討委員について
5. 総理大臣官邸への貸し出しについて
5. 令和5年1月発行の諸員名簿について

報告事項：1. 令和4年度第2回同人新作品展の開催について
2. 第78回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望事項(案)について
3. 北九州市立美術館における再興院展開催(案)について
4. 再興第108回及び第109回以降の院展(広島展)における会期について
5. 第78回春の院展(松山展)の開催の申し入れについて
6. 再興第106回院展(全体)入場者調査表について
7. 再興第106回院展(全体)印刷物売上表について
8. 再興第107回院展(東京展)入場者調査表について
9. 再興第107回院展(東京展)印刷物売上表について
10. その他

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席28名、欠席9名

④ 令和5年2月17日 ○令和4年度 第4回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 第42回奨学金受賞者の推薦について
2. 研究会員の詮衡について
3. 第78回春の院展について
4. 再興第108回院展について
5. 令和5年度同人新作品展示会の開催要領について
6. その他

報告事項：1. 令和5年度事業計画及び同予算書について
2. 公益財団法人日本美術院諸規則の改定について
3. 図書等物販費の改定について
4. 再興院展・大阪展(阪急うめだ本店)の開催中止について
5. 運営会議の検討事項について
6. 水野美術館、高崎市タワー美術館への作品貸し出しについて
7. 各種委員の改選について

8. 第77回春の院展入場者調査表について
 9. 第77回春の院展印刷物売上実績表について
 10. その他

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席30名、欠席7名

⑤令和5年3月7日 ○令和4年度 第5回同人会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：1. 再興第108回院展募集要項について
 2. 第78回春の院展について

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席35名、欠席2名

4. 許可、認可及び承認に関する事項 「該当なし」

5. 契約に関する事項 「該当なし」

6. 寄附に関する事項

(1) 寄附金支出

寄附の目的	寄附の相手方	金額	備考
国華清話会に対する助成	国華清話会	500,000円	日本・東洋の古美術研究誌「国華」は明治22年、岡倉天心先生らが創刊したもので、その学術的重要性は世界的な評価を得ている。この「国華」の続刊に資するため。

(2) 寄附金受入

寄附の目的	寄附者	金額	備考
事業運営経費	日本美術院換価委員会	29,683,983円	調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。
再興第107回院展奨励賞の副賞用	(株)三越伊勢丹	500,000円	再興院展奨励賞の副賞として受賞者に交付している。
	(株)高島屋	500,000円	
	(株)大丸松坂屋	500,000円	
	(株)そごう西武	500,000円	
	合計	31,683,983円	

7. 賛助会員会費に関する事項

賛助会員会費	法人(89社)	11,100,000円	調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。
	個人(734名)	7,540,000円	
	合計	18,640,000円	

8. 主務官庁指示に関する事項 「該当なし」

9. その他の重要事項

(1) 令和4年度第1回同人新作品展の開催

令和4年5月23日から5月29日の7日間、同人の新作(6号)35点を日本美術院1階大広間において展示した。

入場者は118名で、前回3年度第2回より33名の減であった。

(2) 令和4年度第2回同人新作品展の開催

令和4年11月7日から11月13日の7日間、同人の新作(6号)34点を日本美術院1階大広間において展示した。

入場者は129名で、前回第1回より11名の増であった。

(3) 天心霊社の例祭

令和4年9月2日午前10時より諏訪神社宮司をお迎えし、例祭を執り行った。諸員多数が参加した。

貸借対照表

公益財団法人 日本美術院

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	24,425,088	18,358,744	6,066,344
預り金・預金	850,259	800,028	50,231
商品	5,441,193	4,606,657	834,536
流動資産合計	30,716,540	23,765,429	6,951,111
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	8,209,500	8,209,500	0
建物	258,250,626	265,724,112	△ 7,473,486
建物付属設備	24	1,260,317	△ 1,260,293
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
債券	1,010,628,641	1,010,664,789	△ 36,148
基本財産合計	1,297,088,791	1,305,858,718	△ 8,769,927
(2) 特定資産			
退職給与引当預金	7,268,000	6,798,375	469,625
各所修繕引当預金	30,130,000	33,000,000	△ 2,870,000
記念事業積立預金	20,000,429	16,000,256	4,000,173
特定資産合計	57,398,429	55,798,631	1,599,798
(3) その他固定資産			
美術品・資料	164,229,000	163,429,000	800,000
電話加入権	80,000	80,000	0
その他固定資産合計	164,309,000	163,509,000	800,000
固定資産合計	1,518,796,220	1,525,166,349	△ 6,370,129
資産合計	1,549,512,760	1,548,931,778	580,982
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	145,958	134,300	11,658
流動負債合計	145,958	134,300	11,658
2. 固定負債			
退職給与引当金	7,300,000	6,798,375	501,625
各所修繕引当金	30,130,000	33,000,000	△ 2,870,000
固定負債合計	37,430,000	39,798,375	△ 2,368,375
負債合計	37,575,958	39,932,675	△ 2,356,717
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	1,511,936,802	1,508,999,103	2,937,699
(うち基本財産への充当額)	(1,297,088,791)	(1,305,858,718)	(△ 8,769,927)
(うち特定資産への充当額)	(57,398,429)	(55,798,631)	(1,599,798)
正味財産合計	1,511,936,802	1,508,999,103	2,937,699
負債及び正味財産合計	1,549,512,760	1,548,931,778	580,982

正味財産増減計算書

公益財団法人 日本美術院

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[13,435,173]	[12,268,067]	[1,167,106]
基本財産受取利息	13,435,173	12,268,067	1,167,106
資料公開事業収益	[2,342,100]	[2,029,200]	[312,900]
貸出料収益	2,001,100	1,809,200	191,900
企画料等	279,000	187,000	92,000
雑収益	62,000	33,000	29,000
展覧会事業収益	[41,498,662]	[39,415,892]	[2,082,770]
院展収益	(21,056,185)	(19,460,448)	(1,595,737)
出品料収益	4,310,000	4,270,000	40,000
入場料収益	2,275,341	1,409,424	865,917
図書・絵葉書の売り上げ代	9,756,594	8,644,974	1,111,620
企画料等	4,714,250	4,929,050	△ 214,800
雑収益	0	207,000	△ 207,000
春の院展収益	(20,442,477)	(19,955,444)	(487,033)
出品料収益	5,256,000	5,144,000	112,000
入場料収益	36,300	60,000	△ 23,700
図書・絵葉書の売り上げ代	9,292,177	8,625,194	666,983
企画料等	5,858,000	6,126,250	△ 268,250
雑収益	0	0	0
受取会費	[18,690,000]	[19,549,230]	[△ 859,230]
受取賛助会員会費	18,690,000	19,549,230	△ 859,230
受取寄附金	[31,743,983]	[31,608,183]	[135,800]
受取寄附金	0	3,000,000	△ 3,000,000
一般寄附金	29,743,983	26,608,183	3,135,800
特別寄附金	2,000,000	2,000,000	0
受取協賛金	[0]	[0]	[0]
受取協賛金	0	0	0
雑収益	[51,197]	[80,150]	[△ 28,953]
受取利息	1,197	80,150	△ 78,953
雑収益	50,000	0	50,000
経常収益計	107,761,115	104,950,722	2,810,393
(2) 経常費用			
美術の調査研究資料収集・公開事業費	[6,423,707]	[5,423,364]	[1,000,343]
美術の調査研究資料収集・公開事業費	(6,423,707)	(5,423,364)	(1,000,343)
給与手当	1,257,769	1,317,942	△ 60,173
臨時傭賃金	377,865	1,014,070	△ 636,205
福利厚生費	6,550	5,600	950
旅費交通費	280,792	382,311	△ 101,519

通 信 運 搬 費	94,181	84,137	10,044
消 耗 品 費	52,171	58,451	△ 6,280
修 繕 費	1,336,797	108,257	1,228,540
印 刷 製 本 費	0	0	0
写 真 撮 影 費	117,330	0	117,330
研 究 ・ 講 演 会 費	100,330	100,440	△ 110
光 熱 水 料 費	1,242,710	826,554	416,156
賃 借 料	21,021	25,498	△ 4,477
保 險 料	184,839	205,791	△ 20,952
諸 謝 金	0	0	0
租 税 公 課	79,925	35,350	44,575
ビ ル 管 理 費	1,191,488	1,248,458	△ 56,970
雑 費	79,939	10,505	69,434
展 覧 会 事 業 費	[82,610,097]	[82,493,378]	[116,719]
院 展 支 出	(51,733,491)	(53,260,233)	(△ 1,526,742)
給 与 手 当	12,577,688	13,179,424	△ 601,736
臨 時 傭 賃 金	1,161,035	1,291,500	△ 130,465
委 託 費	8,759,709	8,423,047	336,662
福 利 厚 生 費	65,500	56,000	9,500
旅 費 交 通 費	914,372	650,788	263,584
通 信 運 搬 費	1,537,544	1,531,445	6,099
消 耗 品 費	521,715	584,520	△ 62,805
修 繕 費	742,665	59,842	682,823
会 場 費	5,566,284	5,516,370	49,914
宣 伝 費	652,492	1,835,480	△ 1,182,988
印 刷 製 本 費	1,053,224	1,006,202	47,022
図 書 等 原 価 費	7,454,784	8,648,939	△ 1,194,155
表 装 費	71,500	71,500	0
写 真 撮 影 費	1,875,360	1,875,360	0
賞 金	3,600,000	4,000,000	△ 400,000
光 熱 水 料 費	690,394	459,197	231,197
賃 借 料	210,210	254,978	△ 44,768
保 險 料	1,848,386	2,057,912	△ 209,526
諸 謝 金	0	0	0
レセプション開催費	0	0	0
租 税 公 課	879,175	388,850	490,325
ビ ル 管 理 費	661,938	693,587	△ 31,649
立 替 金	114	0	114
預 け 金	2,000	0	2,000
雑 費	887,402	675,292	212,110
春 の 院 展 支 出	(30,876,606)	(29,233,145)	(1,643,461)
給 与 手 当	10,062,150	10,543,539	△ 481,389
臨 時 傭 賃 金	88,500	99,250	△ 10,750
委 託 費	200,330	1,578,300	△ 1,377,970
福 利 厚 生 費	52,400	44,800	7,600
旅 費 交 通 費	566,330	495,212	71,118
通 信 運 搬 費	727,658	858,477	△ 130,819
消 耗 品 費	417,372	467,617	△ 50,245

修繕費	594,132	48,114	546,018
会場費	126,830	0	126,830
宣伝費	150,418	117,330	33,088
印刷製本費	162,360	179,840	△ 17,480
図書等原価費	9,697,066	7,227,894	2,469,172
表装費	71,830	71,500	330
写真撮影費	2,104,430	1,955,130	149,300
賞金	1,700,000	2,000,000	△ 300,000
光熱水料費	552,316	367,357	184,959
賃借料	168,168	203,982	△ 35,814
保険料	1,478,708	1,646,329	△ 167,621
レセプション開催費	0	0	0
租税公課	639,400	282,800	356,600
ビル管理費	529,550	554,870	△ 25,320
立替金	0	1,030	△ 1,030
雑費	786,658	489,774	296,884
助成事業費	[1,000,000]	[1,000,000]	[0]
奨学金支出	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
奨学金	1,000,000	1,000,000	0
管理費	[8,919,310]	[13,377,613]	[△ 4,458,303]
間接費	(8,919,310)	(13,377,613)	(△ 4,458,303)
役員報酬	30,000	0	30,000
給料手当	1,257,769	1,317,942	△ 60,173
委託費	0	0	0
福利厚生費	6,550	5,600	950
会議費	88,143	91,944	△ 3,801
旅費交通費	467,736	315,363	152,373
通信運搬費	666,203	703,936	△ 37,733
消耗品費	52,171	58,451	△ 6,280
修繕費	297,066	24,057	273,009
印刷製本費	386,550	357,830	28,720
光熱水料費	276,158	183,679	92,479
賃借料	21,021	25,498	△ 4,477
保険料	184,839	205,791	△ 20,952
諸謝金	738,606	944,440	△ 205,834
諸会費	606,490	666,600	△ 60,110
ビル管理費	264,775	277,435	△ 12,660
慶弔費	3,000,000	6,016,500	△ 3,016,500
一般寄附金	0	0	0
雑費	575,233	2,182,547	△ 1,607,314
付属設備減価償却額	[1,260,293]	[1,260,293]	[0]
建物減価償却額	[7,473,486]	[7,473,486]	[0]
退職給与引当金繰入額	[770,375]	[723,000]	[47,375]
各所修繕引当金繰入額	[△ 2,870,000]	[0]	[△ 2,870,000]
経常費用計	105,587,268	111,751,134	△ 6,163,866
評価損益等調整前当期経常増減額	2,173,847	△ 6,800,412	8,974,259
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	2,173,847	△ 6,800,412	8,974,259

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
その他固定資産受贈額	[800,000]	[800,000]	[0]
基本財産評価益	[22,270]	[22,270]	[0]
経常外収益計	822,270	822,270	0
(2) 経常外費用			0
基本財産評価損	[58,418]	[58,418]	[0]
経常外費用計	58,418	58,418	0
当期経常外増減額	763,852	763,852	0
当期一般正味財産増減額	2,937,699	△ 6,036,560	8,974,259
一般正味財産期首残高	1,508,999,103	1,515,035,663	△ 6,036,560
一般正味財産期末残高	1,511,936,802	1,508,999,103	2,937,699
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額		0	0
指定正味財産期首残高		0	0
指定正味財産期末残高		0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	1,511,936,802	1,508,999,103	2,937,699

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品は、総平均法に基づく原価方式を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券……………償却原価法(定額法)によっている。

上記以外で市場価値のある債券……………期末時の市場価格等に基づく時価法によっている。

(3) 基本財産・土地の評価方法

受贈簿価により計上している。

(4) 固定資産の減価償却の方法

建物……………定額法によっている。

建物付属設備……………定額法によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金……………当期末における退職給付債務に基づき計上している。

(6) リース取引の処理方法

賃貸借取引に準じた処理によっている。

(7) 消費税等の会計処理

税込処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
預 金	20,000,000	0	0	20,000,000
有 価 証 券	1,010,664,789	22,270	58,418	1,010,628,641
土 地	8,209,500	0	0	8,209,500
建 物	265,724,112	0	7,473,486	258,250,626
建物付属設備	1,260,317	0	1,260,293	24
小 計	1,305,858,718	22,270	8,792,197	1,297,088,791
特 定 資 産				
退職金引当資産	6,798,375	770,375	268,750	7,300,000
各所修繕引当資産	33,000,000	0	2,870,000	30,130,000
特定費用準備資金 (記念事業積立資金)	16,000,256	4,000,173	0	20,000,429
小 計	55,798,631	4,770,548	3,138,750	57,430,429
合 計	1,361,657,349	4,792,818	11,930,947	1,354,519,220

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
預 金	20,000,000	0	20,000,000	0
有 価 証 券	1,010,628,641	0	1,010,628,641	0
土 地	8,209,500	0	8,209,500	0
建 物	258,250,626	0	258,250,626	0
建物付属設備	24	0	24	0
小 計	1,297,088,791	0	1,297,088,791	0
特定資産				
退職金引当資産	7,300,000	0	7,300,000	7,300,000
各所修繕引当資産	30,130,000	0	30,130,000	30,130,000
特定費用準備資金 (記念事業積立資金)	20,000,429	0	20,000,429	20,000,429
基本財産戻入積立資産	0	0	0	0
減価償却引当資産	0	0	0	0
小 計	57,430,429	0	57,430,429	57,430,429
合 計	1,354,519,220	0	1,354,519,220	57,430,429

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
建 物	415,193,832	156,943,206	258,250,626
建物付属設備	126,029,696	126,029,672	24
合 計	541,223,528	282,972,878	258,250,650

6. 資金の範囲について

現金および預金である。なお、前期末および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金 預金	18,358,744	24,425,088
合 計	18,358,744	24,425,088
預 り 金	800,028	850,259
合 計	800,028	850,259
次期繰越収支差額	19,158,772	25,275,347

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び該当債権の当期末残高
該当なし。

8. 保証債務等の偶発債務
該当なし。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当なし。

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし。

11. 関連当事者との取引の内容
該当なし。

12. 重要な後発事象
該当なし。

財 産 目 録

公益財団法人 日本美術院

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)					
現 金 預 金 普通預金 定期預金 普通預金 普通預金 普通預金 当座預金 普通預金 普通預金 預り金・預金 普通預金 普通預金 普通預金 商 品	現金	手元保管	運転資金として	(26,230)	
	預金			(24,366,858)	
	普通預金	三井住友信託銀行・上野 1	運転資金として	22,701,407	
	定期預金	三井住友信託銀行・上野 (08)	運転資金として		
	普通預金	京都銀行・聖護院	運転資金として	547,015	
	普通預金	三井住友信託銀行・上野 4 (賛助)	運転資金として	100,000	
	普通預金	三井住友銀行・上野 (賛助)	運転資金として	737,030	
	当座預金	ゆうちょ銀行・当座 1 (賛助)	運転資金として	183,426	
	普通預金	ゆうちょ銀行・普通 2	販売品売り上げ金	97,980	
	普通預金	大和ネクスト銀行	運転資金として	0	
	預り金・預金			(850,259)	
	普通預金	ゆうちょ銀行・普通 1	源泉徴収所得税の支払預り金、他として	125,328	
	普通預金	ゆうちょ銀行・普通 2	販売品送料の預り金として	21,140	
	普通預金	三井住友信託銀行・上野 2	社会保険料の支払預り金として	703,791	
商 品		公2・展覧会事業の在庫である。	(5,441,193)		
流動資産合計				30,684,540	
(固定資産)					
基本財産					
土地 建物 建物付属設備 定期預金 債券 債券 債券 債券 債券 債券 債券 債券 債券	土地	1085.53㎡ 台東区谷中4丁目2-8	公益目的保有財産であり、展覧会事業(美術の調査研究事業と共用)に使用	(1,297,088,791) 8,209,500	
	建物	1190㎡ 地上3階建 台東区谷中4丁目2-8	公益目的保有財産であり、展覧会事業(美術の調査研究事業と共用)に使用	258,250,626	
	建物付属設備		公益目的保有財産であり、展覧会事業(美術の調査研究事業と共用)に使用	24	
	定期預金	三井住友信託銀行・上野 (08)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	20,000,000	
	債券	外債・大和証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	100,000,000	
	債券	外債・野村証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	100,000,000	
	債券	外債・みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	300,000,000	
	債券	国債・SMBc日興証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	109,965,029	
	債券	社債・大和証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	180,642,408	
	債券	社債・野村証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	100,000,000	
	債券	社債・SMBc日興証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	100,000,000	
	債券	社債・みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用	20,021,204	
	特定資産				(57,430,429)
	退職給与引当預金			7,300,000	
定期預金	三井住友信託銀行・上野 (08)	従業員に対する退職金の支払用	7,268,000		
普通預金	三井住友信託銀行・上野 1	従業員に対する退職金の支払用	32,000		
各所修繕引当預金	定期: 三井住友信託銀行・上野(06,08)	大規模修繕の支払いに備えたもの	30,130,000		
記念事業積立預金	普通: 三井住友信託銀行・上野 3	記念事業展覧会に備えたもの	20,000,429		
その他固定資産				(164,309,000)	
美術品・資料 電話加入権		資料収集・調査研究・公開事業の用に供用	164,229,000 80,000		
固定資産合計				1,518,828,220	
資産合計				1,549,512,760	
(流動負債)					
預り金 預り金 預り金	源泉徴収所得税等		源泉徴収所得税等の支払預り金として	287,856	
	社会保険料			△ 163,038	
	販売品送料		販売品送料の預り金として	21,140	
流動負債合計				145,958	
(固定負債)					
退職給与引当金 各所修繕引当金			従業員に対する退職金の支払用	7,300,000	
			大規模修繕の支払いに備えたもの	30,130,000	
固定負債合計				37,430,000	
負債合計				37,575,958	
正味財産				1,511,936,802	

監査報告書

令和5年5月23日

公益財団法人日本美術院

理事長 田 淵 俊 夫 殿

公益財団法人日本美術院

監 事

西崎 誠一 

監 事

天野 清一 

私たち監事は、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）における公益財団法人日本美術院の業務及び会計についての監査を行いましたので、その結果について次のとおり報告します。

1. 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検証した。
- (2) 業務監査について、理事会並びにその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検証した。

2. 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。